

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 ご紹介と協賛のご案内





Vision

誰もがエンジニアの素養を持ち、より良い社会を共創する

エンジニアの裾野が広がり優秀なエンジニアが多数輩出されるとともに、あらゆる人々がエンジニアの素養を持ち科学技術の発展へ共に貢献できる社会を創ることで、社会一体となって科学技術でより良い社会を共創する未来を作る。

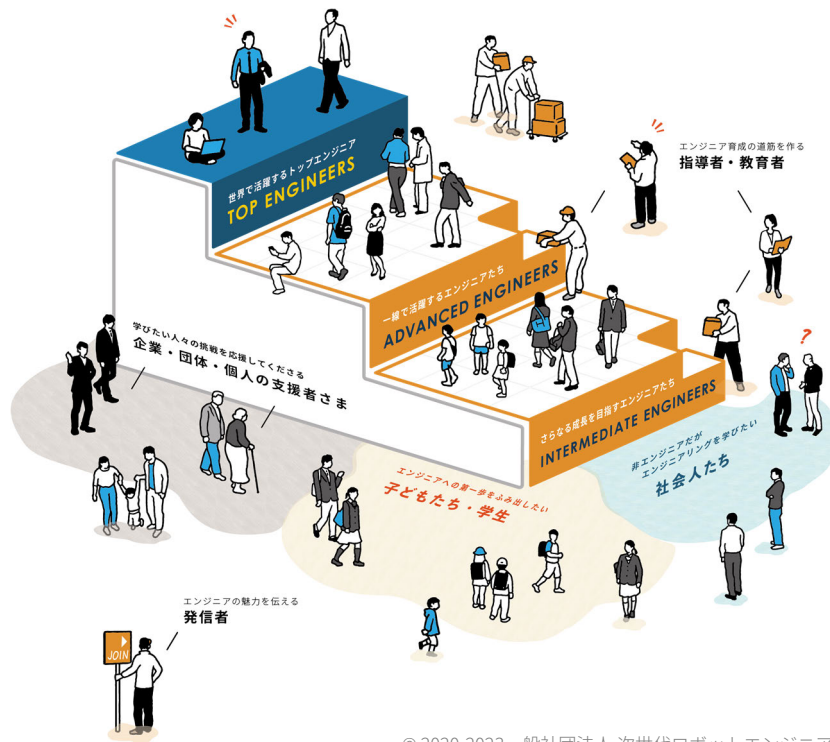
これからの日本を牽引する エンジニアのたまごを地域から育成する

ロボット競技を活用し次世代の日本のものづくり界隈を牽引するエンジニアの育成を試みています。社会一体となってエンジニア教育を実施する基盤を地域社会で創出、子ども達の学びの場とするのみでなく、現役エンジニアや様々な企業、団体、個人が集うコミュニティを創りだすことが本機構の目的です。

Mission

ロボット競技会を人材育成・発掘の場 として最大限に活用する

ロボット競技はロボット作りをはじめ、チームでのものづくりの基礎を実践的に学ぶために非常に良いツールです。国内ではロボット競技会は趣味の一つとして考えられがちですが、海外ではロボット競技会はいまや企業の青田買いの場としても活用されています。本機構はロボット競技を通じて学生や子ども達と企業様の繋がりを作り、新たな就職活動の枠組みを作ります。



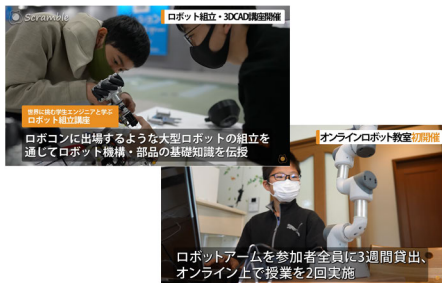


エンジニアをもっと身近で憧れの存在へ！

ジュニアロボットチーム

地域の小中学生が集まり、チームで大型ロボットを作ってロボット競技に出場する、地域ロボット部活動を各地域へ展開しています。

製作過程ダイジェスト映像
<https://youtu.be/LWvUwuoUWYU>
大会出場映像総集編
<https://youtu.be/9ZUeNUDOxYA>



ロボット講座

中上級者を目指す人々へのステップアップの機会を提供し、トッププレイヤーへの道のりを整備。オンライン講座も実施し、地域的格差のない学びの場を作る。

ロボット組立・CAD講座映像
<https://youtu.be/5D5OvPdHU08>
オンラインロボット教室
<https://youtu.be/XY0KCJw3kCo>



イベント出展/企画

ものづくりの楽しさをロボット実演操縦体験や講演を意欲的に実施して広く一般の方々に実感していただく機会を提供。エンジニアを身近な職業へ。

エンジニアリングを学ぶすべての人を応援！

エンジニア選手権

子どもから大人まで誰もがエンジニアリングを生涯学べ、チームでロボットを作り競い合うエンジニア選手権（The Championship of Robotics Engineers：CoRE）を主催。

2023年度選手権配信映像
<https://youtube.com/live/NfAll6CnACU?feature=share>
試合映像映像
<https://youtu.be/S7lwCQR5izk>

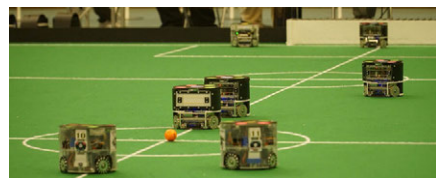


ロボコン学生チーム支援制度

生徒・学生主体のロボコンチームを全国から広く公募で支援。ロボット作りの金銭的負担を軽減し、経済格差のない学びの機会を増やす。

ロボコン社会チーム支援

就職後の自己研鑽の場としての社会人主体のロボコンチームを保有。ロボット競技会で生涯エンジニアリングを学び続ける人々を応援。





高度なエンジニアリングを学ぶ地域ロボット部活動

目指すはロボコンチームの“地域スポーツクラブ化”

ロボット競技出場を地域部活動化

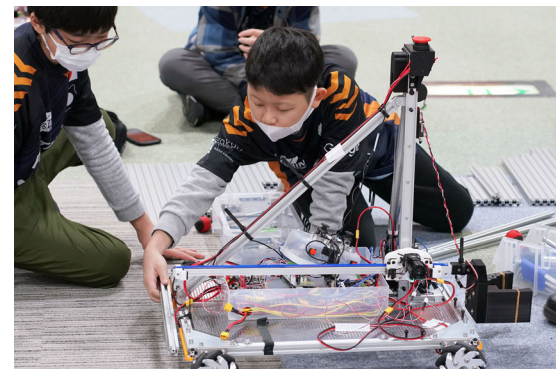
月2回、8ヶ月程度地域から子どもたちが集まりロボット競技会出場に挑む場を各地域に創出

チームでロボットを作り上げる

6人程度で1チームを作り、各自が学びたい分野ごとに担当者を分けチームワークを育む

目標はロボット競技会出場

2023年度は大学生向けロボット競技会“関西春ロボコン”に出場、来年度以降は本機構主催のエンジニア選手権に出場





次世代のロボット競技の中で挑戦的共創人材を育成する

エンジニア育成のための選手権

エンジニア個人とチームに焦点を当て、当日のロボット競技の結果だけでなく様々な観点で能力を測り育成を図る

共創することで高みを目指す

負けたチームが勝ったチームに加わり、協力して次の試合に挑む同盟要素を採用し、チーム間の共創を促す競技設計

次世代のロボット競技

ロボットを一人称視点で操縦し、連携して相手を倒し合う、誰もがやってみたくなるe-sportsのようなロボット競技

継続で壁を打ち破る

情熱の下に、粘り強く問題に挑もう

学びで世界を変える

学び続けることで強みを伸ばし視座を高めてより良い世界を共創しよう

未知に挑み続ける

新しい技術やアイデアを常に探求し失敗を恐れず大胆に行動しよう

あらゆる挑戦を楽しむ

困難な状況で常に全力で楽しみ、仲間とその楽しみを分かち合おう



未来へつなげる

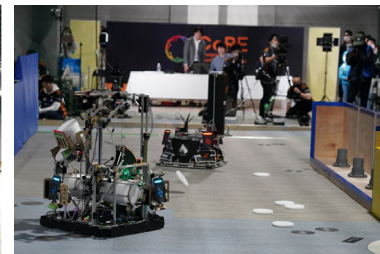
チームやエンジニアコミュニティの継続的発展のために行動しよう

人・技術へ誠実に

誠実で信頼される人となり、公正かつ真摯に技術と向き合おう

協力してより高みへ

違いを認め合い、互いを尊重し、協力することで高みを目指そう



第1回エンジニア選手権開催概要



名 称：The Championship of Robotics Engineers 2023 (CoRE2023)

開催日程：2023年3月25日(土)～3月26日(日)

開催場所：けいはんなオープンイノベーションセンター
(京都府相楽郡精華町精華台7-5-1)

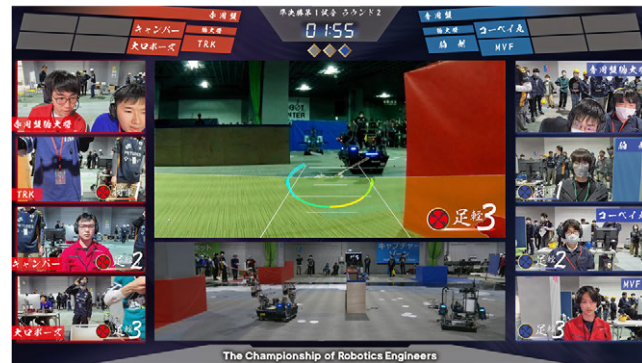
主 催：(一社)次世代ロボットエンジニア支援機構、京都府

後 援：精華町、(一社)日本ロボット学会

参加者数：14チーム157名（高専生、大学生、現役エンジニアなど）

概 要：CoREは学生のみならず現役エンジニア、また初心者でも楽しみながらロボット競技の中で総合的にエンジニアリングとチームワークを学び続け、挑戦的共創人材を育てるエンジニア選手権です。競技テーマは「天下統一ロボットバトル」。敵ロボットに設置された鎧を目掛けてフライングディスクを射出し鎧に命中するとHPが減少、敵の撃破を目指します。敗者は勝者と同盟を組み、協力して次の試合に進む同盟システムを採用、その場で組み上がる同盟の中でチーム間の連携が勝敗の鍵を握ります。決勝トーナメントからは陣取り要素も追加、敵同盟の撃破か敵本陣突破を目指します！

従来のロボット競技会とは異なり、CoREは製作したロボットだけでなく、エンジニアやそのチームに強く焦点を当てています。当日の試合結果だけでなく、チーム活動や提出資料等の総合力を加味した総合優勝制度や個人表彰制度を設け、様々な観点でエンジニアとして、チームとしての能力を測り、これまでスポットライトが当たることが少なかったエンジニア自身を評価して優れたエンジニアとチームの育成を図ります。





本機構の狙いは、エンジニア選手権を軸に子ども・大人に限らず初学者も参加しやすく、また現役エンジニアも生涯参加することができ、エンジニアリングを学び続け、“挑戦的共創人材”を輩出する全世代教育プログラムを創出することです。2023年に開始したエンジニア選手権よりも参加ハードルを下げた初心者向け選手権も2024年から開始することで、初学者の参加を促します。

また、本機構が進める、小中学生がロボット競技出場に挑む地域ロボット部活動“ジュニアロボットチーム”を合わせて全国展開することで、エンジニア選手権に参加する子ども達を増やす仕組みを構築します。





一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構（通称Scramble）は、これからの日本を牽引するエンジニアのたまごを地域から育成する、ロボット競技会を人材育成・発掘の場として最大限に活用する、の2つをミッションに掲げています。次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成、輩出するためのエンジニア選手権CoREの主催、また挑戦的共創人材のたまごを地域から育成するための地域ロボット部活動“ジュニアロボットチーム”の2つの事業を主に展開しています。

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org



役員一覧



代表理事

川節 拓実 博士（工学）
大阪大学 助教



理事

小林 憲人
株式会社ティアフォー
ハードウェアエンジニア



理事

高橋 智也
トヨタ自動車株式会社
生産設備制御エンジニア



理事

高瀬 雄心
株式会社テクノプロ
メカエンジニア



顧問

浅田 稔 工学博士
大阪大学 名誉教授
2019～2020年度日本ロボット学会 会長
大阪国際工科専門職大学 副学長



監事

小林 雄一郎
兵庫県立大学大学院
学校教育研究科 学生



監事

鮫島 功路
株式会社ダイフク
生産設備システムエンジニア

スポンサーのご案内





①学生・現役エンジニア界隈へ貴社の効果的なPRが図れます

本機構が主催するエンジニア選手権CoREは、優れた技術力を持ち革新的なアイデアで周囲と共創しながら様々な困難を打破し未来を切り拓ける次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成する場です。他の事業でも意欲ある学生、現役エンジニアが多数参画しており、本機構へスポンサーードしていただくことで**学生や現役エンジニアといった挑戦的共創人材のたまごに貴社やその製品、サービスを広くアピール**いただく機会となります。

また、本機構で科学技術の未来を考え行動している構成員の大多数がエンジニアリングを学ぶ学生、もしくは若手エンジニアであり、外部のみならず機構内の優秀な若手に対する貴社アピールにもつながります。





②優秀なエンジニアである学生・社会人とのつながりを作れます

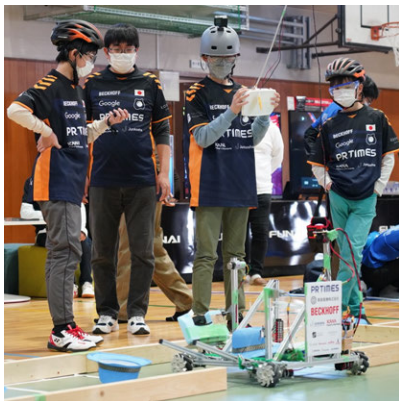
本機構ではエンジニア選手権、ジュニアロボットチーム、FA設備技術勉強会などを通じて子どもから現役のエンジニアとして働く幅広い世代の優秀なエンジニア、そのたまごが参加するイベントを主催しています。これらの参加者には、技術に触れて学ぶことが楽しく好きで仕方ないような、**自発的かつ意欲的に技術を磨き続けられる人材**が多数います。このような人材と関係性を作れるのは貴重な機会であり、従来の就職・転職活動では発掘できない、マッチングしない人材に出会えることもあるため、**新たな採用のチャンス**につなげて頂くことができます。





③次世代を担う子ども達を育成する企業として社会貢献頂けます

本機構は、ジュニアロボットチームなどの取り組みを通じて、次世代を担う子ども達の育成事業を推進しています。科学技術が飛躍的に進歩し、技術を正しく理解し活用することが強く求められる現代において、エンジニア的素養や価値観を身につけることは子ども達にとっても必須になります。本機構への協賛を通じて、子ども達向けの高度なエンジニアリング教育基盤を全国的に普及させる事業へ貢献いただけます。社内教育のみならず、社会的に**エンジニアのたまごの育成に貢献していることをエンジニア界隈にアピール**いただけ、**SDGs目標達成にも資するCSR（企業の社会的責任）活動に注力**されていることを子ども達や保護者含め幅広い層にアピールいただけます。



スポンサープランのご紹介



スポンサーランク 金額	パートナー 100万円	ダイヤモンド 50万円	プラチナ 30万円	ゴールド 20万円	シルバー 10万円	ブロンズ 5万円
Webページへ貴社名、ロゴ掲載	大ロゴ	中ロゴ	中ロゴ	小ロゴ	小ロゴ	小ロゴ
配付資料への貴社名、ロゴ掲載	大ロゴ	小ロゴ	文字のみ	文字のみ	文字のみ	文字のみ
活動報告書のご提供	○	○	○	○	○	○
活動報告会へご招待 ^{※1}	○	○	○	○	○	○
主催大会での限定座席へのご案内 ^{※2}	20名様まで	10名様まで	4名様まで	4名様まで	2名様まで	—
ユニフォームへ貴社ロゴ掲載、ご提供 ^{※3}	特大ロゴ 最大3着	大ロゴ 最大2着	大ロゴ 最大2着	中ロゴ 1着	小ロゴ 1着	—
ロボットへ貴社ロゴ掲載 ^{※4}	○	○	○	○	—	—
Scrambleグッズのご提供	2種3点ずつ	2種2点ずつ	2種1点ずつ	—	—	—
各種イベント時に貴社PR資料配付	○	○	—	—	—	—
特典の個別相談、ご対応	可能	—	—	—	—	—

スポンサー費は消費税の課税対象外で、別途消費税を申し受けることはございません。この表の内容等については変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

ご不明な点がございましたらお気軽にお申し付けください。

※1 報告会は毎年8,9月頃の開催を予定しております。会場にお越し頂く際の旅費等をご負担をお願いします。

※2 本機構が主催するThe Championship of Robotics Engineersなどにおいて支援者様限定の観戦エリアをご用意いたします。

※3 本機構所属者がイベントなどで着用するユニフォームです。デザインの更新は11月の年1回を予定しております。ご提供数分以上をご希望の場合は有償でご購入いただけます。

※4 ジュニアロボットチームで製作するロボットなどに貴社ロゴを掲載いたします。



■ Webページへの貴社名、ロゴ掲載

機構公式Webサイトにて貴社名、ロゴをスポンサーランクに応じて掲載致します。



パートナー
大

ダイヤモンド
中

プラチナ
中

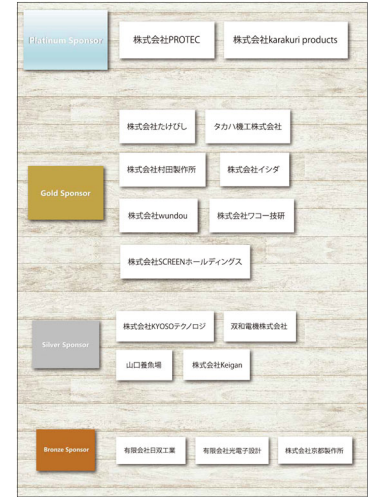
ゴールド
小

シルバー
小

ブロンズ
小

■ 配布資料への貴社名、ロゴ掲載

本機構がイベントなどで配布するスポンサー紹介資料に、貴社名、ロゴをスポンサーランクに応じて掲載致します。



パートナー
大

ダイヤモンド
小

プラチナ
文字

ゴールド
文字

シルバー
文字

ブロンズ
文字



■活動報告会へのご招待

本機構が年一度開催する、活動報告会にご招待致します。
なお、参加に要する旅費などは貴社にてご負担ください。



■活動報告書のご提供

本機構が年一度発行する、支援者様向けの活動報告書（電子版）
をご提供致します。



パートナー

ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

シルバー

ブロンズ

パートナー

ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

シルバー

ブロンズ

※本ページの画像はイメージであり、写真は過去の実施例です。



■主催大会での限定座席へのご案内

本機構が主催するエンジニア選手権などで、VIP席へご案内致します。



パートナー
20名まで

ダイヤモンド
10名まで

プラチナ
4名まで

ゴールド
4名まで

シルバー
2名まで

ブロンズ
なし

■ユニフォームへの貴社ロゴ掲載、ご提供

本機構がイベントなどで着用するユニフォームへ貴社ロゴを掲載します。また、プランに応じてユニフォームを無償提供（有償での追加購入も可能です）致します。ユニフォームは年1回、11月頃にデザイン更新予定です。



パートナー
特大ロゴ、最大3着

ダイヤモンド
大ロゴ、最大2着

プラチナ
大ロゴ、最大2着

ゴールド
中ロゴ、1着

シルバー
小ロゴ、1着

ブロンズ
なし



■ ロボットへ貴社ロゴ掲載

ジュニアロボットチームが製作するロボットなどへ貴社ロゴを掲載致します。



パートナー

ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

シルバー
なし

ブロンズ
なし

■ Scrambleグッズのご提供

本機構が毎年制作するオリジナルグッズをランクに応じてご提供致します。



パートナー
全種3点ずつ

ダイヤモンド
全種2点ずつ

プラチナ
全種1点ずつ

ゴールド
なし

シルバー
なし

ブロンズ
なし



■各種イベント時に貴社PR資料配付

本機構主催イベントや出展イベントでご希望の資料を本機構のパンフレットと一緒に配布致します。



パートナー

ダイヤモンド

プラチナ
なし

ゴールド
なし

シルバー
なし

ブロンズ
なし



一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

スポンサー担当：川節

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org

【振込先情報】

銀行名：京都銀行（0158）

支店名：精華町支店（305）

口座種別・番号：普通 4041125

口座名義：一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 代表理事 川節拓実

※スポンサーは年間スポンサーで、いつでもお申し込みいただけます。



弊機構の取り組みは下記SNSやwebサイト等をご覧ください

公式Webサイト

<https://scramble-robot.org/>

メールアドレス

info@scramble-robot.org

公式Twitterアカウント

https://twitter.com/Scramble_JPN

公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/ScrambleRobocon/>

公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@scramble-robot>

一般社団法人
次世代ロボットエンジニア支援機構
Next Generation Robotics Engineer Support Organization: Scramble

検索するテキストを入力

お問い合わせ

ホーム お知らせ 公募情報 イベント ロボコンTips 機構について 支援チーム ご支援のお願い 関連リンク

お知らせ

- 2023.04.26 株式会社村田製作所様とスポンサー契約を更新
- 2023.04.24 Maker Faire Kyoto 2023に小中学生の作ったロボットや 龍球会用サンプルロボットを出展！(2023年4月29日,30日)
- 2023.04.19 山口養魚場様とスポンサー契約を更新
- 2023.04.18 有限会社光電子設計様とスポンサー契約を更新
- 2023.04.17 双和電機株式会社様とスポンサー契約を更新

Scramble Supporters Club 2023

入会申込はこちら▶▶